

水問題に関する協議会・第13回幹事会の概要

水問題に関する協議会第13回幹事会の会議結果は、次のとおりです。

- 1 日時 平成29年8月9日（水）午後2時から午後3時まで
- 2 場所 愛媛県男女共同参画センター1階 多目的ホール
- 3 会議の概要
西条市から、「西条市地下水保全管理計画」（以下「計画」）の策定等について説明があり、意見交換を行いました。

【西条市の説明】

○計画の概要について説明

- ・ 計画案から、「計画の名称」と「費用負担のあり方」の2点について見直しを検討した結果、「計画の名称」は変更しないこととしたが、「費用負担のあり方」については、この項目自体を削除。
- ・ 地下水の現状として、西条平野沿岸部での地下水塩水化や周桑平野での硝酸態窒素の高濃度化の地下水問題が顕在化し、地下水を取り巻く環境の変化として、降雨や地下水利用の現状など将来的に地下水へ影響を及ぼしかねないリスクがあることを明記。
- ・ 地域の実情に合った保全活動や条例での規制によって保全・管理する地下水を「地域公水」と位置付けるとともに、市民、事業者等関係者が対等な立場で話し合い、地下水の未来づくりに取り組む場として「(仮称)西条市地下水保全協議会」（以下「市協議会」）を設置することを明記。
- ・ 市協議会では、「地域公水」の理念や地下水に関する科学的な認識の共有、計画の進捗の確認、また、森林整備など長期的に取り組むべき施策、黒瀬ダムの水利用など優先して取り組むべき施策、その財源確保のあり方などについて合意形成を図ることなどを明記した。

【主な意見交換の内容】

- ①市協議会に係る変更点や変更理由について
(新居浜市) 市協議会のイメージ図が、第11回幹事会の説明から若干変更されている理由を教えてほしい。
(西条市) 見直し作業を行っていく過程で市民と行政の協働での取り組みが重要であると認識されたため、市協議会の目標や、外部機関との協働、既存の関連組織との連携について修正・追記した。
- ②協議会で取り組む内容や協議事項について
(新居浜市) 市協議会の目的や役割、取り組む内容等について、もう少し詳しく教えてほしい。また、市協議会では、地下水の調査・モニタリングや県営黒瀬ダムの水利用も協議するのか。
(西条市) 市協議会の目的・役割は、「地域公水」の理念や地下水に関する科学的な認識の共有、協議会の提案についての検討・協議、提案

の実現に向けた課題の整理や関係者間の協力体制の整備などで、取組内容は、市民、事業者、行政が主体的又は協働で取り組むべきことや、条例など地域で守るべきルールづくり、施策とその財源確保のあり方についてなどで協議し、合意形成を図ることである。

また、地下水の調査・モニタリングや県営黒瀬ダムの水利用についても協議していく。

- ③計画策定に際しての市民等の意見及び今後の市民への計画の周知について
(松山市) 計画策定に際して、パブリックコメントや市議会から、どのような意見が寄せられたのか。計画の市民への周知方法は。
(西条市) 市民、市議からは、受益者負担のあり方について、特別に負担を求めるのではなく税金で保全を行うべきである、などといった意見があった。市民への周知は、自治会、婦人会などで説明を行うほか、200～300人規模のフォーラムを開催したい。
- ④流量確保や地下水保全に対する市民の意見について
(松山市) 「受益者負担」以外には、流量確保や地下水を保全することに、賛同の意見が多かったという理解でよいか。
(西条市) そういう理解でよい。
- ⑤黒瀬ダムの水利用に関する県との検討・協議について
(愛媛県) 地下水涵養量の増加策の1つである黒瀬ダムの水利用について、県と、どのような検討・協議を進めていくのか。
(西条市) 市としては、まず計画を市民に周知するとともに、市協議会を設置し、地下水の現状や保全策など地下水のあるべき姿の実現に向けて、市内部で十分議論を行った上で、市協議会で地下水涵養量の増加策等について意見を聴きたいと考えている。黒瀬ダムの水利用といった具体的な話は、その後になる。
- ⑥両市の「6つの提案」(以下「提案」)に対する回答の検討状況について
(愛媛県) 提案に対する回答について、西条、松山両市の検討状況はどうか。
(松山市) 西条市が策定した計画を確認した上で、改めて検討、調整したい。
(西条市) 本会で回答するものではなく、いずれ機会を捉えて回答したいと考えているが、まずは市民に計画を周知した上で、西条市の地下水の現状等について市協議会等において意見を聴取したい。

【会議の結果】

次回幹事会においては、西条市から「(仮称)西条市地下水保全協議会」における議論の状況や市民の意見について中間報告を行うこととした。併せて、市民の意見等を踏まえた黒瀬ダムの水利用、農業用水の利用効率化などの方向性などについて報告を受けることとした。